

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	<b>13</b>
合計	<b>100</b>

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームゆうしゅん
(ユニット名)	1F
所在地 (県・市町村名)	長崎県佐世保市東浜町846-3
記入者名 (管理者)	安永 悦子 (管理者)
記入日	平成 20 年 9 月 1 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービス事業所としての理念について、職員全体で繰り返し検討を行ってきた。利用者が、海が見える豊かな自然に囲まれた、心やすらぐ環境のもと、のんびり、穏やかに安心して生活して頂けるよう、ホーム独自の理念を掲げご支援させて頂いている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	わかりやすい位置に理念を提示し、各職員は日々その理念に基づいた支援を行うように努力している。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族、利用者、地域の皆様へもわかりやすく見やすい位置に理念を提示し、家族会や運営推進会議の折に説明し、理解して頂けるよう努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	積極的な声かけ、挨拶に努めており行事開催時もより多くの方に参加していただけるよう案内を行っている。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地元の方々との親睦をより深める事ができるよう、地域活動の情報を集め、町内行事へは積極的に参加し交流を深め意見交換等を行っている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>介護職としての知識、経験を活かし、地域(内外)の相談等には助言・アドバイスを行っている。また、地域の職場体験学習生を受け入れるなど、人材育成への貢献にも微力ながらも努めている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が外部評価の意義を理解し、各個別に自己評価へ取り組んでいる。また、評価結果については全職員で共有し、改善へ向けての会議を実施している。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の内容は議事録として各職員や利用者、ご家族へも伝達しており、改善への取り組みも職員会議で議論し、よりよいホーム作りへ活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>必要時は担当窓口へ出向き情報の共有や運営に関するアドバイスをもらっており、自治体協力のもとサービスの質の向上に努めている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要とされる利用者がある場合は制度の説明や自治体や民間の機関を紹介するなど対応を行う。また、職員も事業や制度の理解を深める為、積極的に勉強会を実施している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>各職員が利用者個々の人格や尊厳を重んじ虐待、拘束のない介護に取り組んでいる。</p>	○	<p>施設内外の研修参加や施設独自の勉強会を設け、学ぶ機会を持ちたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は利用者、ご家族を含めての説明を心掛け、事業所の方針や取り組み等について理解して頂き、同意を得るようにしている。また、契約内容の改訂時にも文書や口頭で都度説明を行い同意を得ている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の生活の中でコミュニケーションを図り、個々の意見、要望等を気兼ねなく話して頂けるような関係づくりを行っている。出された意見、要望は職員会議で討議し対処するなど前向きに取り組んでいる。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>緊急時は電話連絡を行い、ご家族面会時には対話の機会を持ち現況報告や情報交換を行っている。また、個人記録や預かり金台帳も月1回開示し、疑問点や要望事項についても傾聴する機会を設けている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常にご家族との対話の機会を持ち、気兼ねなく意見や不満、要望等を話して頂けるような関係作りに努めている。出された意見や苦情、要望等々は貴重なご意見として踏まえ、職員会議で討議し対処している。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議や勉強会の際、職員それぞれが意見を出し合い、それらの意見を職員全体会議で討議し、改善に向け努力している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じた対応、支援が出来るような勤務体制を心掛けている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>極力、ユニットの職員を固定化し、馴染みのある職員によるサービス提供を心掛けている。新人職員は利用者とのコミュニケーションの場を多く持ち、一日も早い信頼関係の構築に努力している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者はサービスの質の向上、個々のスキルアップを図るよう研修会への参加を働きかけ、職員もまた積極的に研修会へ参加し自己研鑽に努めている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>定期的な連絡協議会やブロック会議等へ参加し、他事業所との情報交換や情報の共有に努めている。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員相互の関係を深める意味で研修旅行を予定中。また、全職員や各ユニットで親睦会を開き交流している。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個々の職員が資格や経験、能力に応じた役割をもち、自ら積極的に働けるよう支援している。又、専門性を活かした中身の濃いサービスの提供が出来るよう資格取得に向け働きかけている。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約前の段階より親身に相談に応じ、納得・安心してご利用頂けるよう心掛けている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族の思いをしっかりと傾聴し受け止め、今後の対応のあり方や方針を納得して頂けるまで話し合い、安心してご利用頂ける様に配慮している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス 利用も含めた対応に努めている	早急に利用者本人、ご家族と話し合いの場を持ち、状況を確認し問題 解決に向けての対策を検討したり、必要に応じては他サービスへ繋げ るなど臨機応変に対応行う。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	環境の変化によるダメージを最小限に食い止めるよう、事前の施設見 学や入居者との交流の機会を確保し、入居者や職員との信頼関係の 構築に努め、ご本人が納得された上で利用へと導けるようご支援して いる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本 人から学んだり、支えあう関係を築いている	全職員が、利用者は人生の先輩、利用者と職員は対等な関係である という認識の下、学ぶ姿勢を忘れず、常に感謝の心で接するよう心掛 けている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて いく関係を築いている	常に情報交換の場を持ち、利用者の日常の会話や表情・状態などを 伝達し、ご家族の思いも汲み取りながら共に支え合い、同じ方向性 でご支援するよう努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援 している	ご家族や知人の面会も多く、継続的な交流も確保出来られているが、 関わりの少ない利用者については面会の依頼をするなど働きかけを 行っている。職員は常に中立的立場で利用者、ご家族の其々の思い を確認し、両者がより良い関係を継続できられるようご支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	馴染みの美容室や商店からの訪問サービスを受けたり、故郷訪問や知 人、友人との交流支援の機会を企画し実施している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合 えるように努めている	職員が常に仲介役となり、利用者一人ひとりが他者の言動や行動を受 け入れて頂けるよう働きかけ、トラブルを防ぎ関係が円滑に行くよう配慮 している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	医療機関や他施設への面会を行うなど、契約終了後も関係性を大切にさせて頂いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	対話の機会をもち、本人の意向、要望等を伺うように心掛けている。また、日々の生活の中でキャッチした言葉や表情、行動等から本人の思いを汲み取り、職員間で情報交換・共有し、より良い方向性を見出すように努めている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始前にご家族より情報収集を行い、それまでの生活及び身体状況等の把握に努めると共に、利用開始後の生活の中で本人との会話や家族からの聞き取りで情報を得ている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月1回開催しているスタッフ会議や毎日の申し送りの席で、情報の伝達・交換を行い、状況把握に努めニーズに即したサービス提供が出来るように心掛けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、ご家族の意向や要望を確認すると共に、アセスメントでの課題分析、職員間での情報収集を行い、本人主体の計画を作成している。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した介護計画によりサービス提供ができるよう、月1回のスタッフ会議でモニタリングを実施している。評価・見直し、情報収集を行う中で状況変化があれば、都度変更や修正を加え対応を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活状況と個別援助を分けて記録している。身体状況や日々の暮らしの様子、エピソード等を本人の言葉で詳細に記録し、状態の変化や本人の思いを把握し、実践に結びつかせている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関の受診や通院は、基本にご家族に依頼しているが、本人、ご家族の状況や要望に応じ臨機応変に行っている。		
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的で開催している運営推進会議を通じ、協力支援の依頼を働きかけ、実際に自治会長や民生委員より助言、アドバイス等を頂いている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業所や外部ケアマネジャー、専門職との連携がとれるよう日頃より関わりを持っている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的で開催している運営推進会議を通じ、協力依頼が出来る体制が整い、権利擁護事業や成年後見制度の利用についても必要に応じアドバイスを受けている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望される医療機関への受診が出来られるよう支援し、受診後は主治医、ご家族、職員と情報を共有しながら健康管理に努めている。また、定期的に主治医による訪問診療が行われている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力機関である主治医との連携により、常時相談が出来る体制であり、適切な助言・アドバイスを頂いている。また必要に応じ診療や治療を受けられる状況である。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携の体制を整え、定期的な訪問看護を受けている。看護師による日常の健康状態の把握、職員による情報伝達により適切なアドバイスを頂いている。また、突発的なケースについては、電話相談や臨時訪問を受けている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には面会を行い状態の把握を行うと共に、医療機関との情報交換を密に行い、また、ご家族の意向を確認しながら対応行っている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、ご家族の意向を確認しながら、主治医、職員が今後の方向性について納得のいくまで話し合い、全ての関係者が納得、同意の上で方針を決定している。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	常に利用者本人の状態把握に努め、ご家族の意向を確認しながら対応を行っており、急変時には協力医療機関・主治医との連携がとれるよう、支援体制を整えている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者、ご家族の同意を得た上で、関係機関への情報提供・情報交換を行い、安定した生活環境を確保できられるよう、きめ細やかな支援を心掛けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<input type="checkbox"/> プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない		
51	<input type="checkbox"/> 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		
52	<input type="checkbox"/> 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<input type="checkbox"/> 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		
54	<input type="checkbox"/> 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている		
55	<input type="checkbox"/> 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄を心掛け、各々の排泄パターンを把握し、随時の声かけや誘導を実施している。また、行動を素早くキャッチし失敗のない支援を心掛けている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には、曜日設定、順番交代制にて対応中であるが、夏場は希望浴も導入、拒否時には強制することなく、順番を替えたり、翌日に声かけし対応するなど臨機応変に行っている。又、入浴日以外は足浴を実施している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本的な1日の流れはあるが、起床・就寝時間等も思い思い、利用者主体、本人のペースで生活して頂いている。昼夜逆転、安眠確保への対応として、日中は活動的に過ごして頂くよう支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが得意分野で力を発揮して頂けるような環境、雰囲気づくりに努めている。掃除機かけ、洗濯物たたみや分配など、自らの仕事として取り組まれている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣い程度の少額を自己管理され、外出や近隣のスーパーへ買物に行く楽しみを持たれている。自己管理分の金銭管理については、ご家族と相談しながら支援している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺の散歩、近隣スーパーへの買物など、希望に沿える外出支援を心がけている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食、花見、夏祭りなど季節の風物詩を肌で感じて頂けるよう外出支援を計画・実施している。又、誕生月には故郷訪問や利用者が希望される場所への外出支援を実施中、遠出の外出、墓参り、故郷訪問等については、ご家族の協力支援を受けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を所持され自由にご家族、知人、友人との連絡を取られる方もある。又、利用者の希望に応じ日常的に電話や手紙を出せるよう支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は定めず、自由に行き来できられるよう配慮している。また、来訪者への積極的な挨拶、会話をを行い、気兼ねなく訪問して頂けるような親しみやすい雰囲気づくりに心掛けている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束の弊害を理解し、拘束をしないケアを前提に実践している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の所在把握に努め、安全性に配慮しながら、玄関の施錠は行わず自由な暮らしを支援している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に職員は居間に待機しさりげなく見守りを行い、利用者の動きやサインを察知し素早く対応ができる姿勢である。訪室時はノック・声かけを行い、了解を求め入室するように努め、夜間帯は頻回に訪室・巡回を実施し安否確認を行っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物(包丁)は夜間のみ消毒を兼ねて乾燥機へ保管をしているが、その他の危険物については、利用者の状態を見極めながら職員間で十分な検討を行い対処している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ユニット及び全体会でリスクマネジメントについて学習し、職員の共有認識の下日々のケアに努めている。、日常生活の中で気付いたリスクについては記録を行い、随時及び定期的にリスクマネジメントを実施し、事故を未然に防ぐよう努力している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全体会(勉強会)を開催し、利用者の状態に応じて想定される事故を検討、応急処置や急変時に備えての学習を行っている。	○	新人職員を含む全職員がそれぞれに責任を持ち、いかなる場合においても万全な対応ができるよう、定期的に学習する機会を設けていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	月1回の割合で利用者、職員とともに避難訓練を実施し、確実な誘導が出来るように備えている。又、年2回は消防署、消防関連企業の協力を得ての消防総合訓練を実施中。定期的な訓練後の反省及び改善点については、都度対策を講じている。	○	夜間想定避難訓練や地域の方を交えての消防訓練を予定。又、訓練を通して出された改善点の対策として、砂利道の舗装及び避難場所(地域)の確保を行う予定。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族面会時に都度、現況報告や起こり得るリスクについての説明を行い、ご家族の意向を確認しながら対応している。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック及び身体、表情、動作等の状態把握に努め、生活状況と共に個別に記録し異変や前兆を見逃す事がないよう心掛けている。又、突発的なケースについては、主治医、看護師と連携をとり、安心して過ごして頂けるよう支援している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の処方箋をファイリングし、処方変更時や副作用等については伝達ノートで情報を共有し、職員一人ひとりが内容を把握できるようにしている。また、内服薬の内容、用量等の一覧表を作成し、与薬時に再確認し誤薬等がないように留意している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、排便の有無を確認し、便通促進の食材やメニューを工夫している。また、個別に飲み物を提供し自然排便を促すよう配慮している。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きを実施し、介助が必要な方については義歯洗浄や口腔内の確認を行うなど個々に応じた支援を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	肉、魚、野菜をバランスよく取り入れ、食事量や食事形態についても個々に合わせて提供し、状況によっては代替食で対応行っている。又、毎日の食事摂取量を記録し、摂取状況の把握を行い栄養確保に努めている。水分については、昼夜共に飲み物を自室に常備し利用者自らも水分摂取に留意されている方もある。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いの励行、毎日の台所用品の消毒など衛生管理に心掛けている。全職員が県、市からの情報を共有し、感染症対策等の研修に参加するなど感染予防の徹底を図っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理チェック表による毎日の食品確認や布巾・まな板のハイター消毒及び乾燥機による温熱消毒を実施し衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	敷地入り口に畑や花壇を設け、明るい環境づくりを演出している。また、玄関入り口にはベンチ3台を設置し、誰でも自由に使用しお喋りやくつろげるスペースを確保している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の居間には季節感を味わって頂ける様な生花を飾り、また、四季折々の装飾を行うなど工夫している。不快音については、台所用品の取り扱いやスタッフの大声による私語を慎むよう徹底している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関やベランダにベンチや椅子を設置し、外の景色を眺めたり、利用者同士でお喋りしたりと思い思いに過ごせる環境を整えている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分らしい生活の継続が実現できられるよう、使い慣れの物品、好まれる所持品は気軽に持ち込んで頂き、居心地の良い空間づくりを行って頂いている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	全職員が臭いの無い爽やかな環境づくりに心掛け、利用者の同意を得た上で、室内の換気・空調管理に努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態把握を行いながら、都度、手すりの取り付けや車椅子対応型の洗面台導入、ウォシュレットトイレへの取替えなど環境の改善を実施してきた。直近では、トイレのドアを撤去しカーテンに取替え、利用者の安全確保に配慮した環境づくりに努めている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の状態を把握し、状況に応じた環境設定に努めている。居室入り口には顔写真を掲げ、混乱・失敗がないような配慮を心掛けている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関、ベランダにベンチを設置し外気浴やお喋り、気分転換ができる環境を整えている。又、敷地内の花壇に野菜や花を植え、水やりや収穫の楽しみを味わっていただくよう工夫している。		

## V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

海が見える豊かな自然に囲まれた心やすらぐ環境にある。

利用者の思いを汲み取り、利用者本人の希望ややりたい事ができる“本人主体”の施設づくりを目指しご支援している。

又、認知症の進行防止やADLの低下防止を図る為、集団及び個別の運動や学習療法を導入し心身両面のサポートを実施している。